

12 国民理解の醸成

<対策のポイント>

食と環境を支える農林水産業・農山漁村に対する国民理解の醸成・行動変容を図るため、**地産地消の促進、農業体験の促進、食品安全に係るリスク低減や環境負荷低減の取組の「見える化」**等のほか、**官民連携による食育活動の全国展開、農林漁業教育の支援**に向けた調査・検討や**地域での食育の推進、食文化の保護・継承**のための普及活動、**木育**等を推進します。

<政策目標>

- 食料自給率の向上
- 環境・人権等の社会的要求への配慮や食品の安全性向上の取組に対する消費者意識の向上 等

<事業の全体像>

1. 農山漁村の魅力発信

農山漁村振興交付金 **9,970 百万円**（前年度 7,045百万円）の内数
学校給食での地場産物の活用促進、農業遺産地域の魅力発信、子ども農山漁村体験や都市農地を活用した**農業体験の促進**等を行います。

2. 食品安全に係るリスク低減の取組の可視化

有害化学物質・微生物リスク管理総合対策事業
（食品の安全性向上に係る見える化推進） **236 百万円**（前年度 195百万円）の内数
科学的知見に基づく食品の安全性をより向上させる取組を推進するため、消費者等への効果的な情報発信ツールの作成等を行います。

3. 環境負荷低減の取組の「見える化」や J-クレジットを通じた行動変容促進・理解醸成

- ① **みどりの食料システム戦略推進総合対策
環境価値化による投資促進環境整備事業** **4,795百万円の内数**
環境負荷低減や生物多様性の取組をコストではなく付加価値を生むものとして捉え、**J-クレジットの新規方法論や見える化簡易算定ツールを充実**することにより、環境負荷低減の国民理解を醸成します。
- ② **2027年国際園芸博覧会事業**
11,259百万円（前年度 8,115百万円）の内数
GREEN×EXPO 2027を「グリーン技術の産業見本市」とするため、3つのコンセプトであるカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブについて、農林水産関係の展示や催事を通じて国民理解の醸成を図ります。

4. 食育の推進と食文化の保護・継承

- ① **食育の推進**
 - ア **食育活動の全国展開事業** **100 百万円**（前年度 69百万円）
官民連携食育プラットフォームの運営や食育推進全国大会の開催等を行います。
 - イ **農林漁業教育サポート事業** **20 百万円**（前年度 - 百万円）
農林漁業教育の支援に向けた調査・検討や農林漁業従事者を始めとした**外部人材**を掲載するオープンリストの作成を行います。
 - ウ **地域での食育の推進** **5,665百万円**（前年度 1,896百万円）の内数
生産者と消費者との交流や学校給食での地場産物等活用の促進、総合的・計画的な「**農林漁業教育**」の実践等の地域における食育活動を推進します。
- ② **食文化の保護・継承**
和食保護・継承促進事業 **12 百万円**（前年度 6百万円）
和食文化を次世代に継承する人材の育成を推進するとともに、和食の付加価値創出の促進にも資する**伝統食のデータベース化**を図ります。

5. 木育の推進

森林循環利用・付加価値創出対策 **18,552 百万円**（前年度 9,228百万円）の内数
木材利用に関する消費者等の理解の醸成に向け、木材利用の意義等を学ぶ木育について、関係者連携によるモデル的な取組や木育実践者の能力向上に資する取組を推進します。

[お問い合わせ先]

- （1の事業） 農村振興局農村計画課 (03-6744-2493)
- （2の事業） 消費・安全局食品安全政策課 (03-6744-2135)

- （3の事業） 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ地球環境対策室 (03-6744-2016)
- （4①の事業） 消費・安全局消費者行政・食育課 (03-6744-1971)
- （4②の事業） 新事業・食品産業部外食・食文化課 (03-3502-5516)
- （5の事業） 林野庁林政部木材利用課 (03-6744-2296)